

(4) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

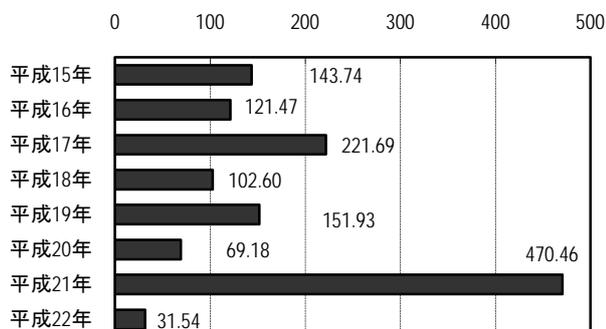
平成22年の年間報告数は2,139例、定点当たり報告数は31.54、定点当たり報告数の過去5年平均値(平成17年から平成21年まで。以下同じ。)との比は0.16、前年比は0.07であった。

週別定点当たり報告数の推移をみると、平成21年～平成22年シーズンの流行は、平成21年第33週(8月)に定点当たり報告数が1.0を超えて流行期に入り、平成21年第44週(10月)にピーク(31.36)を迎え、第6週(2月)に1.0を下回り終息した。例年12月～1月に流行期に入り1月～2月にピークを迎えるのに比べ、平成21年中にシーズンのピークを迎えたため、年間定点当たり報告数は、感染症法が施行された平成11年以降、最も少なかった。

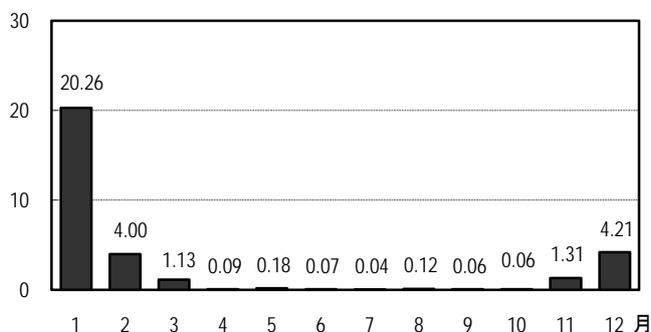
年齢階級別定点当たり報告数の割合(以下「年齢階級別割合」という。)は、0～9歳 36.9%、10～19歳 17.7%、20～29歳 19.2%、30～39歳 13.0%、40歳以上 13.2%であった。

詳細は、[患者情報1](#)(平成22年トピックス)「(1)イ 平成22年 インフルエンザのまとめ」を参照。

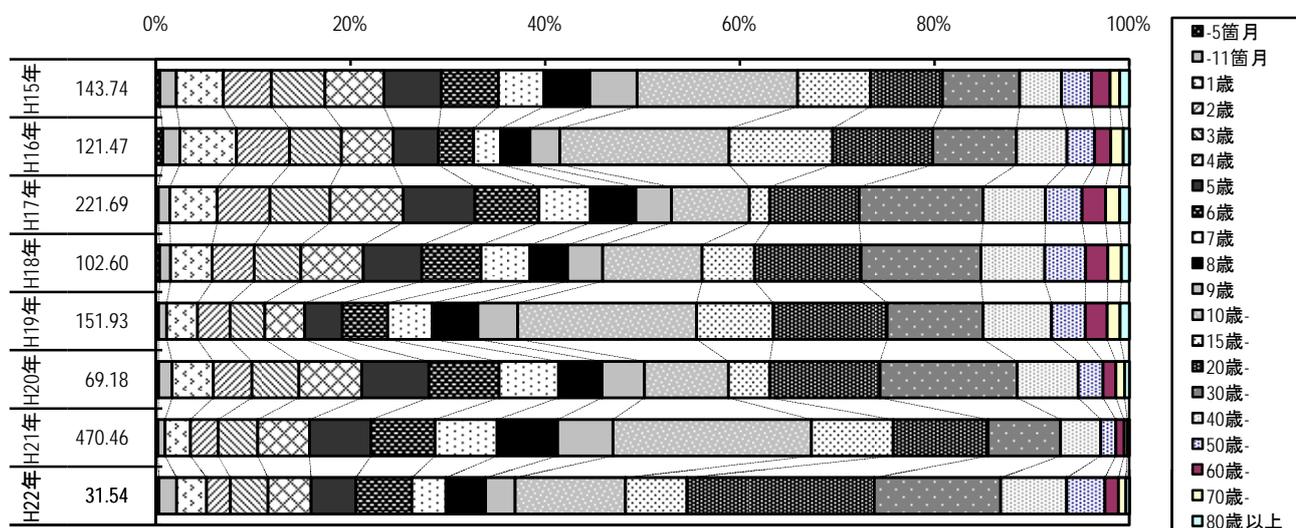
年次別定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



インフルエンザ

週別定点当たり報告数の推移

